

高齢者肺炎球菌予防接種費用助成制度のご案内

【接種前に必ずお読みください】

この予防接種は、ご本人が接種を希望する場合に限り接種することができます。接種を受ける義務は無く、接種を希望されない方は、原則として予防接種をする必要はありません。定期予防接種として助成を受けられる機会は、今回1回限りです。

対象者 接種日現在、足立区に住民登録のある方で下記に該当し、初めて 23価肺炎球菌ワクチン予防接種を受ける方

① 65歳の方

(実施期間は65歳の誕生日の前日から66歳の誕生日の前日まで)

② 60歳以上65歳未満の心臓、じん臓、呼吸器の機能、またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障がいをお有する方(身体障害者手帳1級相当)

このご案内が届いた方でも、過去に23価肺炎球菌ワクチンの接種を受けたことがある方(全額自費で接種を受けた方も含む)は、定期接種の対象とはならないため、予診票を使用することはできません。再度接種を希望する場合は、各医療機関の定める金額を医療機関へお支払いください。

接種費用 無料

※ 同封の予診票を使用して4,000円の自己負担金を支払うことで接種を受けられる定期予防接種ですが、足立区から補助を行っているため、無料で接種できます。

※ 予診票を使用せず、全額自費で接種を受ける場合の金額は、各医療機関の定める額となります。

ワクチン 23価肺炎球菌^{きょうまく}莢膜ポリサッカライドワクチン

接種場所 別紙『高齢者肺炎球菌予防接種指定医療機関名簿』のとおり

※ 東京23区の指定医療機関でも、無料で接種できます。他区の医療機関での接種を希望される方は、その医療機関が所在区の指定医療機関かどうか事前にご確認ください。

接種方法 接種日当日に『高齢者用肺炎球菌予防接種予診票』の太枠内を記入し、指定医療機関へお持ちください。

※ 麻痺や正確な意思の確認が難しいなどの理由により、接種を受ける本人が希望書欄に署名できない場合は、家族やかかりつけ医によって、特に慎重に本人の接種意思の確認をした上で、接種適応を決定する必要があります(最終的に確認ができなかった場合には、予防接種法に基づく接種はできません。)

※ 予診票控えは、自己の健康の記録として大切に保管してください。

裏面へ続く

【高齢者肺炎球菌予防接種説明書】

✦ 肺炎球菌ワクチンの効果

肺炎球菌ワクチンは、肺炎球菌による肺炎を予防するワクチンです。肺炎球菌は、肺炎、気管支炎、敗血症、髄膜炎などを起こす細菌の一つであり、特に高齢者の肺炎の20～40%は、肺炎球菌が原因といわれています。

肺炎球菌ワクチンは、肺炎球菌による感染症の約70%に効果が期待されます。接種をしてから免疫（抗体）ができるまで、平均1か月程度かかります。

✦ 予防接種を受ける前に

(1) 一般的注意事項

肺炎球菌予防接種については、このお知らせをよく読み、必要性や副反応についてよく理解しましょう。気にかかることや分からないことがあれば、予防接種を受ける前に、担当の医師や看護師に相談しましょう。十分に納得できない場合には、接種を見合わせてください。予診票は接種する医師にとって予防接種の可否を決める大切な情報です。接種を受ける方が、責任を持って記入し、正しい情報を接種医に伝えてください。ただし、接種を受けることは義務ではなく、本人が接種を希望する場合に限り接種を行います。

(2) 予防接種を受けることができない人

- ① 明らかに発熱のある人（通常、37.5℃を超える場合）
- ② 重い急性疾患にかかっていることが明らかな人
急性の病気で薬を飲む必要がある人は、その後の病気の変化がわからなくなる可能性があるため、その日は接種を見合わせるのが原則です。
- ③ 肺炎球菌ワクチンに含まれる成分によって、アナフィラキシーを起こしたことが明らかな人
「アナフィラキシー」とは、通常接種後約30分以内に起こるひどいアレルギー反応のことです。
- ④ その他、医師が不適当な状態と判断した場合
上記①～③に該当しなくても医師が接種不適当と判断した時は接種できません。

(3) 予防接種を受ける際に、主治医と相談しなくてはならない人

- ① 心臓血管疾患、じん臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有することが明らかな人
- ② 予防接種で発熱などの副反応が見られた人
- ③ 過去にけいれんの既往がある人
- ④ 過去に免疫不全の診断がなされている人及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる人

✦ 接種後の注意

- (1) 予防接種を受けた後、30分間は急な副反応が起こることがあります。医師（医療機関）とすぐに連絡が取れるようにしておきましょう。
- (2) 接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射したところを強くこすことはやめましょう。いつもどおりの生活をしてかまいませんが、激しい運動や多量の飲酒は避けましょう。

✦ 肺炎球菌ワクチンの副反応

予防接種の注射の痕が赤くなったり、腫れたり、痛んだりすることや、発熱・悪寒・頭痛・全身のだるさなどがみられることがあります。通常2～3日のうちに治ります。それらの症状がひどかったり、長引いたりする時は、医師（医療機関）の診察を受けてください。

✦ 問合せ先 ✦

お問い合わせコールあだち 3880-0039

午前8時～午後8時まで（1月1日～3日を除く毎日）

足立区 衛生部 保健予防課 予防接種係 TEL3880-5094